

伊勢原市民文化会館施設改修工事
設計条件書

伊勢原市

1 施設の概要

(1) 所在地

神奈川県伊勢原市田中 3 4 8 番地

(2) 敷地

施設の敷地条件は下記のとおりである。

項目	内容
敷地面積	7,500㎡
地域地区	市街化区域・商業地域
主要用途	公会堂
交通	電車 小田急電鉄小田原線「伊勢原」駅より徒歩約13分 バス 「行政センター前」下車徒歩3分 「伊勢原市役所北口」下車徒歩3分

(3) 建物概要

項目	内容
竣工年	昭和55年2月20日
建物構造・規模	SRC、地上4階、地下1階
延床面積	7,081.62㎡
建物概要	大ホール（1,340人収容1,204席）、小ホール（392人収容）、 展示室1、展示室2、リハーサル室、練習室1、練習室2 練習室3、練習室4
レストラン棟(別棟) 地下諸室	電気室、非常用発電機室、バッテリー室、熱源機械室、機械 室、受水槽室、清掃員控室、ドライエリア

2 業務内容

(1) 改修方針

本施設は昭和55年（西暦1980年）建設から46年が経過しており、建築の全般的な老朽化に対応するため、令和3年度に実施された伊勢原市民文化会館現況調査業務における、施設の劣化診断を踏まえ、劣化した設備機器の更新、建築部位の修繕と共に、竣工後に法令の改正により既存不適格となった特定天井の耐震化があり、大小ホールの客席天井及びエントランスホー

ル天井について耐震化を行う。なお、本改修は単なる老朽化対策にとどまらず、行政センター地区における文化活動や子育て支援等の拠点性を高め、地域コミュニティの活性化に資する施設環境の整備を念頭に置くものである。これらを踏まえ、必要な資料の作成および実施設計業務を行う。

(2) 改修工事内容と考慮すべき点

ア 建築工事

原則として竣工時の計画を踏襲し、大幅な機能変更は行わない。主として防水・外壁等の機能劣化や特定天井の耐震改修、アスベスト含有材の撤去などを行う。

外装については、外壁タイルの防水性能改善と剥落防止措置などがある。屋上防水・目地シーリングについては、劣化した防水層を調査で特定して撤去し、シート防水もしくはウレタン塗膜防水で防水層を新設する。

内装については、天井の照明器具以外の設備機器更新が伴う場合は、天井を張り替えるものとする。床・壁等の仕上は原則として既存のままとしている。建具についても原則として既存のままとしている。

大ホールの客席椅子は更新とする。小ホールの客席椅子は既存のままとしている。

既存不適格となった事項の現行法規への適合対応としては、特定天井、手摺等がある。その内、大小ホールの特定天井については、市が令和8年3月頃に取得した既設補強による任意評定に従って工事を行う。

イ 一般設備（電気・空調・衛生）工事

平成8～9年に冷温水発生機の更新を行った以外には、特に大規模な改修工事を行っていない。本施設の大きな特徴として、本庁舎とレストラン棟地下において受変電設備及び熱源を共有しており、本施設休館期間中も本庁を通常利用するため、改修方法に制限がかかってしまうという事がある。しかし、部品交換しかしていない受変電設備や、改修から28年経った冷温水発生機など、更新すべきインフラ機器は多い。本庁舎を休業せずにそれらの機器を更新するには、抜本的な改修案が必要となっている。

熱源について、オールモジュールチラーとして、レストラン棟と本施設の間に設置し、冷温水発生機を撤去した後に既存の受変電設備を活かしたまま冷温水発生機のあった位置に新規の受変電設備を設け、短期間で切替工事を行う方法を想定している。この方法に限定している訳では

ない。併せて、騒音対策や本庁舎と将来的な熱源切り離しを検討する。

非常用発電機については、防災負荷の計算方式が竣工時と変わっているため、既設と同じ容量では不足する。また現行の計算式で必要な容量とした場合、既設と同じレストラン棟地下発電機室に設置出来るかどうかを検討すること。

その他、現在の消防法に合わせるため、非常放送設備のスピーカー間隔、誘導灯の設置位置、スプリンクラーヘッドの設置方法などの改修を行う。

ウ 舞台設備（舞台機構、舞台照明、舞台音響）工事

舞台機構設備については、平成2年と平成22年にワイヤー交換を行っているが、電動のマシン交換は竣工以来行っていなかったため、今回の改修事業で大ホールは交換する。小ホールの電動マシンは既存のままとする。大小ホール共、既設で手動の道具バトンについては、既設のままとする。

舞台照明設備については、平成13年に改修工事を行っている。今回の改修事業では大ホールの調光卓と調光器盤を更新する。但し、負荷設備については、使える筐体は流用し、傷みの激しい照明器具は部品交換を行う。小ホールの調光卓、調光機器、負荷設備は既存のままとする。

舞台音響設備については、平成5年に大ホール、平成9年に小ホールの改修工事を行っている。音響機器は寿命が短く、大小ホールとも全面的な更新が望ましいが、今回の改修事業では大ホールのみ、ほぼ全面的な機器の更新を行う。小ホールの音響機器は既存のままとする。

エ ユニバーサルデザイン

本施設は公の施設であり、乳幼児、高齢者、障がい者などの方々も利用しやすいように、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例等の基準を踏まえ、トイレについては、和便器を洋便器化すると共に、手摺などを設ける改修を行うこと。

オ 特定天井の耐震改修

大小ホールの客席天井及び、エントランスホール天井については、平成26年建築基準法施行により、天井高6mを超えかつ面積200㎡を超える特定天井に該当し、既存不適格となっている。本事業において、これらの特定天井の耐震化改修を行うことにより、現行法に適合させるものとする。

大小ホール客席天井については、既存の天井を耐震補強する補強案で任意評定を取得している。本事業は補強案で耐震化すること。

エントランスホール天井の耐震化については本業務において手法を決定する。

カ 大小ホールの建築音響性能

本施設の大小ホールは、多目的ホールとして適切な室内音響性能を備えている。今回大小ホールは、特定天井の改修を張り替えではなく、既設補強とすることによって、できるだけ既存の音響性能を維持することを目的としている。

キ その他業務を実施する上で必要な関連業務

本施設の設計業務のほか、業務を実施する上で必要な関連業務がある場合は、適宜行うこととする。

3 建築に関する設計と条件

(1) 外部劣化改修工事

ア 防水改修工事

既設防水層は直近の改修より 15 年以上経過しており、各部位で大雨の際に部分的な漏水起こしている状況である。今回全面更新を行う。今回メンブレン防水は全面更新、笠木は部分更新を行う。部位の細区分は、実施設計段階において、受注者が既存図書と照合し詳細を確認すること。

イ 外壁改修工事

タイル貼り部分はまず笠木下 60cm 程度の部分に汚れ・劣化が見られる。これは笠木の外壁側にタイル 1 枚分の幅の役物(45cm×45 cm) タイル部分の雨垂れが原因かと思われる。タイル表面がクスリ掛けではなく、粗面調で埃交じりの雨水を弾きにくくなり長い時間をかけて粒子がタイル粗面に入り込み、汚れが堆積されたと考察される。改修方法としては本庁舎と同様に改修部分を定め、カッターを入れ劣化部分を類似のタイルでの貼替が望ましい。なお、北側 1 階の練習室、リハーサル室外壁の縦長窓下部の劣化は、窓下毎の改修でなく、その面全ての外壁タイル

改修が望ましい。

化粧型枠打放部塗装仕上の劣化・汚れはタイル面ほどではないが、タイル貼り部分と同様に笠木下の部分や外壁突起部分下に汚垂れによる汚れが散見されるため既設同等で再塗装する。

また、外部建具に関しては、仕様に従って下地調整の上、再塗装をすること。ガラス入り建具はシールを打ち替えること。外部建具は更新対象外とするが、外壁改修に伴い必要となる建具枠等の部分的な塗装補修は美観・防錆の観点から実施することを基本とする。ただし建具本体の全面塗装は対象外とし、具体的な範囲は実施設計段階で受注者が市と協議して決定する。

大ホール玄関部および大ホール舞台外壁（国道 246 号線側）に設置されている「伊勢原市民文化会館」の館名文字についても更新を行う。

なお、レストラン棟の外壁改修は対象外とする。

外構改修工事(継続使用)

市民広場、駐車場、車止め、グレーチング、植栽等は今回の設計範囲外とする。ただし、仮設計画検討により、必要な改修工事は設計に見込むこと。

ウ 漏水改修工事

下表の部位の漏水改修を行う。

部位	既設仕様	改修仕様
舞台下手側階段 3 階漏水改修工事	階段外壁サッシュ際及び打継ぎ部分から雨水侵入痕有り。	建具周辺の外壁タイルを取り外し、古いシールを撤去して打ち替えた後、タイルを復旧する。
同上 B1 階漏水改修工事	地中外壁から侵入水があり、雨天時にコンクリートブロック壁からしみこんでくる模様。	コンクリートブロックの下端床躯体への定着及び上端躯体梁への定着確認を行う。漏水原因調査の結果に応じて適切な防水処理を実施したうえで、剥離した P タイルを再設置する
管理事務室漏水改修工事	豪雨時に収納庫奥に隠蔽された縦樋の繋ぎ部分にずれがあり、そこから漏水が発生している。	縦樋の該当箇所を部分的に交換する。隠蔽していた内装は撤去し、縦樋交換後に復旧する。
展示室漏水改修工事	豪雨時に西側壁内部に隠蔽された縦樋の繋ぎ部分にずれがあり、そこから漏水が発生している。	縦樋の該当箇所を部分的に交換する。隠蔽していた内装は撤去し、縦樋交換後に復旧する。

(2) 内部劣化部改修工事

ア 内装改修工事

大小ホールホワイエ側便所の既設和便器を洋便器に更新する際に、床穴補修、壁痕補修、ブースの調整、内装の一式更新等を行う。なお、大小ホールの楽屋便所、浴室、シャワー室等については継続使用とする。

天井に設置もしくは隠ぺいされている設備機器を更新するために、必要がある場合は諸室の天井及び天井下地を張り替えること。また、維持管理上必要となる天井点検口を設置すること。

雨水配管や空調配管の豎管更新の際に、解体が必要な PS 等の壁を撤去、再構築すること。コンクリートスラブ貫通部分は、配管更新前後のハツリとモルタル埋めを行い、防火区画を形成すること。

下記の諸室は、特記のない床・巾木・壁等は原則既存のままとし、継続使用とする。天井改修に伴い、施工上撤去が必要となる部位は合わせて更新をする。

大ホールの男女楽屋便所、男女浴室は基本的には既存のままとするが、みんなのトイレを設置できるように検討し、改修すること。

小ホールの男女楽屋便所、男女シャワー室は基本的に既存のままとするが、みんなのトイレを設置できるように検討し、改修すること。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
B1F	電気室	床：ビニルタイル t2 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し、CBt150 化粧積 巾木：モルタル金ゴテ H=100	既存のままとする。
B1F	空調機械室	床：RC 打ち放し 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し、CBt150 化粧積 巾木：モルタル金ゴテ H=100	既存のままとする。
B1F	オーケストラピット	床：ビニルタイル t2 壁：モルタル金ゴテ、EP 吹付	既存のままとする。
B1F	奈落	床：ビニルタイル t2 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し、CBt150 化粧積 巾木：モルタル金ゴテ H=100	既存のままとする。
B1F	奈落庫	床：ビニルタイル t2 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し、CBt150 化粧積 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
B1F	迫りピット	床：RC 金ゴテ押さえ 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し	既存のままとする。
B1F	小迫りピット	床：RC 金ゴテ押さえ 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し	既存のままとする。
B1F	トレンチ	床：RC 金ゴテ押さえ 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
B1F	小ホール会議室 男子便所	床：テラゾータイル貼 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、 EP 吹付 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾータイル貼 H=100 ブース：ポリ合板	床：抗菌性ビニルシート 天井：EP 吹付 壁：EP 吹付 巾木：ステンレス巾木 ブース：メラミン化粧合板 で更新する。
B1F	小ホール会議室 女子便所	床：テラゾータイル貼 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、 EP 吹付 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾータイル貼 H=100 ブース：ポリ合板	床：抗菌性ビニルシート 天井：EP 吹付 壁：EP 吹付 巾木：ステンレス巾木 ブース：メラミン化粧合板 で更新する。
B1F	便所前通路	床：ノンスリップゴムタイル貼 天井：LGS 下地、PBt9+12、吹付 タイル 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル	既存のままとする。
B1F	清掃員控室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ VEP 吹付 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で更新、その 他は既存のままとする。
1F	風除室(1)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、プリズムカット アクリル板光天井 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	既存のままとする。
1F	風除室(2)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、プリズムカット アクリル板光天井 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	既存のままとする。
1F	管理事務室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテビニルクロス FCU カバー：天端ランバーコアメ ラミン化粧合板 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で更新、その 他は既存のままとする。
1F	応接室	床：カーペット 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテビニルクロス 移動間仕切り：ビニルクロス FCU カバー：天端ランバーコアメ ラミン化粧合板 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で更新、その 他は既存のままとする。
1F	エントランスホール ロビー	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100 ブラインドボックス：スチール OP FCU カバー：スチール OP 電話ブース：アクリル製	特定天井は更新、その他は既 存のままとする。 ロビー西側のガラスはメンテ ナンス等を考慮した比較検討 し、更新する。
1F	案内カウンター	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、岩綿吸音板 t9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		カウンター：人造大理石 巾木：ソフト巾木	
1F	男子更衣室 女子更衣室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	電話機械室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	廊下(1) (Y9～13)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	天井は更新、その他は既存のままとする。
1F	廊下(2) (Y13～14)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	湯沸室(1)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100 流し台、吊戸棚	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	展示室(1)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、岩綿吸音板 壁：モルタル金ゴテ VEP 移動間仕切り：クロス FCU カバー：天端ランバーコアメラミン化粧合板 巾木：ソフト巾木 H=100	床、巾木、天井は既設同等で更新、壁、FCU カバー、移動間仕切りは既存のままとする。
1F	同上倉庫	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、岩綿吸音板 壁：モルタル金ゴテ VEP 移動間仕切り：クロス 巾木：ソフト巾木 H=100	床、巾木、天井は既設同等で更新、壁、移動間仕切りは既存のままとする。
1F	展示室(2)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、岩綿吸音板 壁：モルタル金ゴテ VEP 移動間仕切り：クロス FCU カバー：天端ランバーコアメラミン化粧合板 巾木：ソフト巾木 H=100	床、巾木、天井は既設同等で更新、壁、FCU カバーは既存のままとする。
1F	同上倉庫	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、岩綿吸音板 壁：モルタル金ゴテ VEP 移動間仕切り：クロス 巾木：ソフト巾木 H=100	床、巾木、天井は既設同等で更新、壁は既存のままとする。
1F	練習室(1)	床：カーペット 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：有孔合板 t6、OP FCU カバー：天端ランバーコアメラミン化粧合板	天井は既設同等で更新、その他は既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		巾木：ラワン UP H=100	
1F	倉庫 (廊下(2)に面する)	床：モルタル防塵塗装 天井：RC、モルタルハケ引 壁：RC、モルタル金ゴテ 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	練習室(2)	床：カーペット 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：木下地 PBt9+岩綿吸音板 t9 FCU カバー：天端ランバーコアメラミン化粧合板 巾木：木巾木 OP H=100 ブラインドボックス：スチール ピクチャーレール	天井は既設同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	倉庫(元録音室)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：有孔合板 t6OP FCU カバー：天端ランバーコアメラミン化粧合板 巾木：木巾木 OP H=100	天井は既設同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	練習室(3)	たたき床：ビニルタイル 床：フローリングブロック 床：畳 天井：LGS 下地合板 t5.5 ビニルクロス竿縁天井 壁：モルタル金ゴテビニルクロス 移動間仕切り：クロス FCU カバー：突板合板 巾木：畳寄母 CL	天井は既設同等で更新、床はフローリングに更新、その他は既存のままとする。
1F	練習室(4)	たたき床：ビニルタイル 床：フローリングブロック 床：畳 天井：LGS 下地、合板 t5.5 ビニルクロス竿縁天井 壁：モルタル金ゴテビニルクロス 移動間仕切り：クロス FCU カバー：突板合板 巾木：畳寄母 CL	天井は既設同等で更新、床はフローリングに更新、その他は既存のままとする。
1F	練習室(3)前室	たたき床：P タイル 床：フローリングブロック 天井：LGS 下地、合板 t5.5 ビニルクロス竿縁天井 壁：モルタル金ゴテビニルクロス 巾木：白ラワン H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	練習室(3)倉庫	床：モルタル金ゴテ 天井：LGS 下地、PBt9、EP 壁：木下地、合板 t2.3 巾木：白ラワン H=100	既存のままとする。
1F	小ホール客席	床：ビニルタイル、通路のみカーペット 天井：特定天井 壁：LGS 下地、白ラワン合板 t9、	特定天井は別途記載。 床、壁、巾木は既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		一部有孔合板 CL 後壁：エキスパンドメタル 巾木：白ラワン H=100	
1F	小ホール前室 3室	床：ニードルパンチカーペット 天井：着色外綿吹付金ゴテ t20 特殊 エキスパンドメタル押さえ 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	小ホール舞台	床：木造床組、杉板斜め張り t18、合 板 t20、ヒノキ集成材 t25 天井：木毛セメント板打込 壁：グラスウールクロス包みボタン 留め、t50 巾木：木巾木 H=100	既存のままとする
1F	小ホール道具庫	床：ビニルタイル 天井：木毛セメント版打込 壁：RC 打ち放し、一部 CB 積み、 一部グラスウールクロス包みボタン 留め 巾木：木巾木 H=100	既存のままとする。
1F	小ホールホワイエ	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、PBt12.5+化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	特定天井は更新、その他は既 存のままとする。 エントランスホールと一体化 した魅力向上につながる提案 をすること。
1F	小ホール大道具搬入 口	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ、グラスウール クロス包みボタン留め t25 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	小ホール楽屋 (1)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ゴテ、一部 LGS 下 地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロッ ク、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その 他は既存のままとする。化粧 台は引き出しを撤去する（引 き出し枠も含む）。
1F	小ホール楽屋 (2)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ゴテ、一部 LGS 下 地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロッ ク、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その 他は既存のままとする。化粧 台は引き出しを撤去する（引 き出し枠も含む）。
1F	小ホール楽屋男子便 所	便所床：ビニルシート貼 天井：LGS 下地、LGS 下地、FBt6	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 ブース：ポリ合板 飾り棚：テラゾーブロック t30 鏡	
1F	小ホール男子シャワー室	床：施釉モザイクタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル 巾木：なし	既存のままとする。
1F	小ホール男子脱衣室	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル 巾木：なし	既存のままとする。
1F	小ホール楽屋女子便所	便所床：ビニルシート貼 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 ブース：ポリ合板 飾り棚：テラゾーブロック t30 鏡	既存のままとする。
1F	小ホール女子シャワー室	床：施釉モザイクタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル 巾木：なし	既存のままとする。
1F	小ホール女子脱衣室	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル 巾木：なし	男子便所化粧室
1F	身障者便所 (小ホールホワイエ)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 壁：モルタル金ゴテ、吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 ライニングトップ：テラゾー 鏡、アコーディオンドア、ステンレス手摺	壁、天井を再塗装する。巾木はステンレスで更新する。床は抗菌ビニルシートとする。手摺、鏡は既存のままとする。ライニングトップは取り外し再取付とする。
1F	リハーサル室	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：木下地、有孔合板 移動間仕切り：有孔ケイカル板 巾木：ラワン OP H=100 ブラインドボックス：スチール OP 鏡：2000×7500 手摺：ステンレス φ 42.7 カーテン：倍幅	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	リハーサル室倉庫	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、化粧 PBt9	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		壁：モルタル金ゴテ VEP 移動間仕切り：有孔ケイカル板 巾木：ラワン OP H=100	
1F	大ホール客席	通路床：カーペット 客席下床：ビニルタイル 蹴上げ：モルタル金ゴテ VP、一部鉄板 OP 天井：LGS 下地、PBt12.5、EP 塗装 壁：LGS 下地、一部鉄骨下地 PBt12.5、吹付タイル 巾木：一部鋼板 t1.6OP H=100 一部 RC 打ち放し吹付タイル 一部モルタル金ゴテ吹付タイル	特定天井は別途記載。 床を既設同等で更新する。 既設床を撤去する際は、更新する椅子の撤去後とし、新設椅子の設置前に床のビニルタイルを貼るものとする。 壁は既存のままとする。
1F	大ホール側廊(1)(2)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：モルタル金ゴテ(一部 LGS 下地 PB12+9)吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	大ホール舞台	床：木造床組、杉板斜め張り t18、合板 t20、ヒノキ集成材 t25 天井：木毛セメント板打込 壁：木毛セメント板打込 巾木：木巾木 H=100	既存のままとする。
1F	大ホール舞台花道(1)(2)、袖(1)(2)、袖踏込	床：木造床組、杉板斜め張り t18、合板 t20、ヒノキ集成材 t25 音響調整室、調光室下天井：RC 打ち放し吹付タイル、 袖天井：LGS 下地、FBt6 目透かし VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：雑巾摺	既存のままとする。
1F	大ホール大道具置場	床：パーケットフロア 天井：木毛セメント板打込 壁：木毛セメント板打込 巾木：木巾木 H=100	既存のままとする。
1F	大ホール舞台付庫	床：ビニルタイル t2 天井：RC 打ち放し 壁：木毛セメント版 t20 打込 巾木：木製巾木 H=100 木製棚：合板 t12、支柱□100	既存のままとする。
1F	ピアノ庫	床：パーケットフロア 天井：RC 打ち放し 壁：木毛セメント版 t20 巾木：木製巾木 H=100	既存のままとする。
1F	技師室	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt9 敷目 EP 壁：木毛セメント版 t20 巾木：木製巾木 H=100	既存のままとする。
1F	大ホール舞台付通路	床：ビニルタイル t2 天井：木毛セメント版 t20 壁：木毛セメント版 t20	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		巾木：木製巾木 H=100	
1F	大ホール楽屋 (1)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ごて、一部 LGS 下地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロック、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。化粧台は引き出しを撤去する（引き出し枠も含む）。
1F	大ホール楽屋 (2)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ごて、一部 LGS 下地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロック、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。化粧台は引き出しを撤去する（引き出し枠も含む）。
1F	大ホール楽屋 (3)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ごて、一部 LGS 下地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロック、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。化粧台は引き出しを撤去する（引き出し枠も含む）。
1F	大ホール楽屋 (4)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PB 壁：モルタル金ごて、一部 LGS 下地 PBt9VEP 化粧台下：ライニング CBt100 積 巾木：ソフト巾木 H=100 化粧台：メラミン化粧板 洗面台、鏡付 着替えブース：フローリングブロック、カーテンレール	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。化粧台は引き出しを撤去する（引き出し枠も含む）。
1F	大ホール楽屋男子便所	便所床：ビニルシート貼 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 ブース：ポリ合板 飾り棚：テラゾーブロック t30 鏡	既存のままとする。
1F	大ホール男子浴室	床：施釉モザイクタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		巾木：なし	
1F	大ホール男子脱衣室	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	大ホール楽屋女子便所	便所床：ビニルシート貼 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 ブース：ポリ合板 飾り棚：テラゾーブロック t30 鏡	既存のままとする。
1F	大ホール女子浴室	床：施釉モザイクタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：□100 施釉タイル 巾木：なし	既存のままとする。
1F	大ホール女子脱衣室	床：パーケットフロア 天井：LGS 下地、FBt6 敷目張り、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
1F	楽屋玄関ホール 楽屋通路	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	警備室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、化粧 PBt9 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	湯沸室(2)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100 流し台、吊戸棚	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
1F	ボイラー室	床：モルタル金ゴテ 天井：RC 打ち放し 壁：RC 打ち放し 巾木：モルタル金ゴテ 煙突：カポスタック φ 130 打込	既存のままとする。 (ボイラーは衛生設備工事で撤去)
1F	大ホールホワイエ	床：テラゾータイル 天井：エキスパンドメタル 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	既存のままとする。
1F	女子便所 (大ホールホワイエ)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾー H=100 ブース：ポリ合板	壁、天井、照明ボックスを再塗装する。巾木はステンレスで更新する。床は和便器を洋便器化するための穴明け、復旧を行い、抗菌ビニルシートとする。ブースを既設同等で更

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
		ライニングトップ：テラゾー 照明ボックス：スチール OP	新する。ライニングトップは 取り外し再取付とする。
1F	女子便所化粧室 階段	床：ビニルシート 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩 き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100、ステンレ ス目地 ベビーベッド：合板 t24、カーペット ノンスリップ：金属製タイヤ付	壁、天井を再塗装する。巾木、 ノンスリップは既設同等で更 新する。床は抗菌ビニルシー トとする。その他は既存のま まとする。
1F	男子便所 (大ホールホワイエ)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩 き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾーH=100 ブース：ポリ合板 ライニングトップ：テラゾー 照明ボックス：スチール OP	壁、天井、照明ボックスを再塗 装する。巾木はステンレスで 更新する。床は和便器を洋便 器化するための穴明け、復旧 を行い、抗菌ビニルシートと する。ブースを既設同等で更 新する。ライニングトップは 取り外し再取付とする。
1F	男子便所化粧室 階段	床：ビニルシート 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VP 叩 き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100、ステンレ ス目地 ベビーベッド：合板 t24、カーペット ノンスリップ：金属製タイヤ付	壁、天井を再塗装する。巾木、 ノンスリップは既設同等で更 新する。床は抗菌ビニルシー トとする。その他は既存のま まとする。
1F	身障者便所(2)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、FBt6、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾーH=100 ライニングトップ：テラゾー 手摺：ステンレスφ42.7 鏡：ステンレス枠付	壁、天井を再塗装する。巾木は ステンレスで更新する。床は 抗菌ビニルシートとする。手 摺、鏡は既存のままとする。ラ イニングトップは取り外し再 取付とする。
1F	身障者便所(3)	床：テラゾータイル 天井：LGS 下地、FBt6、VP 叩き 壁：モルタル金ゴテ吹付タイル 巾木：テラゾーH=100 ライニングトップ：テラゾー 手摺：ステンレスφ42.7 鏡：ステンレス枠付	壁、天井を再塗装する。巾木は ステンレスで更新する。床は 抗菌ビニルシートとする。手 摺、鏡は既存のままとする。ラ イニングトップは取り外し再 取付とする。
1F	主催者控室	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音 板 t9 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100 カーテンレール：ステンレス カウンター：人造大理石	天井は既設同等で張り替え る。 その他は既存のままとする。
1F	休憩コーナー	床：ビニルシート 天井：ブリッジ下は LGS 下地、 PB9+岩綿吸音板、その他はホワイ エに同じ 壁：モルタル金ゴテ、吹付タイル 巾木：硬質巾木 H=100	既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
1F	ラウンジ	床：長尺塩ビシート 天井：吹き抜け 壁：モルタル金ゴテ、吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 洗面背後：メラミン化粧合板	既存のままとする。
1F	配膳室	床：長尺塩ビシート 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VEP 壁：モルタル金ゴテ、吹付タイル 巾木：ソフト巾木 H=100 カウンター：人造大理石	既存のままとする。
1F	厨房	床：磁器タイル 天井：LGS 下地、FBt6 敷目 VEP 壁：モルタル金ゴテ VP 巾木：磁器タイル H=100	厨房機器の撤去、その他は既存のままとする。
1F	廊下(6) (大ホール楽屋廊下)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、ケイカル板+EP 塗装 壁：モルタル金鍍+EP 塗装 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
2F	大ホール側廊(3)(4)	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：モルタル金ゴテ(一部 LGS 下地 PB12+9)VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で張り替え、その他は既存のままとする。
2F	母子コーナー(1)(2)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：モルタル金ゴテ VP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で張り替え、その他は既存のままとする。
1F	廊下(6) (大ホール楽屋廊下)	床：ビニルタイル 天井：LGS 下地、ケイカル板+EP 塗装 壁：モルタル金鍍+EP 塗装 巾木：硬質ビニル巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
2F	大ホール調光室	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt12+岩綿吸音板 t9 壁：モルタル金ゴテ、一部 LGS 下地 PB12+9VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
2F	大ホール音響調整室	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt12+岩綿吸音板 t9 壁：LGS 下地 GWt40 充填有孔 FBt6VEP 巾木：木製巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
2F	大ホール付ファンルーム	床：モルタル金ゴテ 天井：RC 打ち放し委 壁：RC 打ち放し 巾木：モルタル金ゴテ H=100	既存のままとする。
2F	通路(1)(2) (大ホール調光室、音響	床：ビニルタイル 天井：RC 打ち放し	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
	調整室付)	壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：ソフト巾木 H=100 手摺：スチールφ34、OP	
2F	小ホール付投光室 (1)(2)	床：モルタル金ゴテ 天井：白ラワン合板加工張り CL 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：モルタル金ゴテ H=100 ハンガーパイプ：スチールφ34、 OP タラップ：φ22	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
2F	小ホール付ファンルーム	床：モルタル金ゴテ 天井：RC 打ち放し委 壁：RC 打ち放し 巾木：モルタル金ゴテ H=100	既存のままとする。
	F階段室 (1F～3F)	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt12EP 壁：モルタル金ゴテ、VEP 巾木：ソフト巾木 H=100 タラップ：φ22、OP ノンスリップ：金属製タイヤ付	既存のままとする。
2F	小ホール調光機械室	床：ビニルタイル t2 天井：LGS 下地、PBt12 敷目 EP 壁：モルタル金ゴテ、VEP 岩綿吹付 t20 コテ押さえ 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする。
2F	調整室（小ホール）	床：ビニルタイル 天井： LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：有孔合板 t6 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
3F	大ホール投光室(1)(2)	床：モルタル金ゴテ 天井：LGS 下地、白ラワン合板加工張り CL 壁：モルタル金ゴテ VEP 巾木：モルタル金ゴテ H=100 ハンガーパイプ：スチールφ34、 OP タラップ：φ22	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
3F	大ホール調光機械室	床：ビニルタイル t2 天井： LGS 下地、PBt12+岩綿吸音板 t9 壁：LGS 下地、GWt40 充填有孔 FBt6VEP 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既設同等で張り替える。 その他は既存のままとする。
2F	調整室（小ホール）	床：ビニルタイル 天井： LGS 下地、PBt9+岩綿吸音板 t9 壁：有孔合板 t6 巾木：ソフト巾木 H=100	天井は既存同等で更新、その他は既存のままとする。
3F	シーリングスボット室（大ホール）	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、FBt6VP 壁：有孔合板 t6 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする

図面階	室(部位)	既設仕様	改修仕様
3F	ピンスポット室 (大ホール)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、FBt6VP 壁：有孔合板 t6 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする
3F	シーリングスポット 室 (小ホール)	床：ニードルパンチカーペット 天井：LGS 下地、FBt6VP 壁：有孔合板 t6 巾木：ソフト巾木 H=100	既存のままとする
	A 階段室 (1F～3F)	床： 壁：モルタル金ゴテ、吹付タイル 巾木：硬質ビニル巾木 H=100 ノンスリップ：金属製タイヤ付	既存のままとする

イ ホール客席椅子工事

大ホールは、下記の仕様で更新する。小ホールは今回の設計範囲外とする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
大ホール客席椅子	幅 480mm 座・背ともウレタン入り生地包み張り 座は手動跳ね上げ式	1204 脚	座、背、脚部は既設同等で更新する。但し幅は 52cm とし、座は自動起立式とする。椅子幅の拡張に伴い、席数は 1,055 席程度となる。
小ホール客席椅子	大ホールに同じ	392 脚	既存のままとする。

ウ 建具改修工事

建具は今回の設計範囲外とする。

エ サイン工事

サインは今回の設計範囲外とする。ただし、改修に伴い内容が変更となるサインについては、更新する。

オ アスベスト除去工事

今までに本施設でアスベストの含有調査は、平成 17 年度、平成 22 年度、平成 27 年度に部分的に実施しており、含有は検出されていない。下表に調査結果を示す。

調査年	調査部位	調査結果
平成 17 年	小ホール入口二重扉内天井	含有無し
平成 22 年	小ホール入口	含有無し
	小ホール調光室	含有無し

	小ホール	含有無し
	大ホール	含有無し
平成 27 年	大ホール 1 階スプリンクラー制御弁室	含有無し

石綿含有調査においては、図面確認や目視調査を行うこととする。分析調査は別途発注とし、石綿の含有が確認された箇所については、関係機関等と調整し、適切な処理方法を選定し、設計に反映させるものとする。

(3) バリアフリー関連工事

本事業におけるバリアフリー改修は、本施設の安全性および利用者利便性を確保することを目的とし、現状のバリアフリー設備の機能を維持しつつ、必要に応じて点字ブロック・手摺・段差解消・導線確保等の適切な補修・更新を行うものとする。

工事エリアにおいて既設点字ブロックの誘導経路が分断される場合には、仮設点字ブロックの設置等により、視覚障害者の安全な通行が確保されるよう配慮するものとする。

(4) 現行法規適合対応工事

ア 大ホール特定天井耐震化工事

原則、令和 8 年に市が取得した任意評定の補強案に沿って、既設の天井を耐震補強し、現行法規に適合させること。

イ 小ホール天井耐震化工事

原則、令和 8 年に市が取得した任意評定の補強案に沿って、既設の天井を耐震補強し、現行法規に適合させること。

ウ エントランスホール天井耐震化工事

本業務において、手法を検討し現行法規に適合させること。

4 電気設備に関する設計と条件

(1) 受変電設備

ア 市民文化会館受変電設備

既存設備を撤去し、全面更新する。

イ レストラン棟の電源設備

非常電源系統の受変電設備を新設する。また、熱源改修に伴う変圧器盤を増設する。ここではレストラン棟に設置される電源設備全般を対象とし、非常電源設備と一般電源設備を合わせて記載する。

レストラン棟地下1階に電源設備を新設する場合、1階トイレを考慮し、漏電等の施設運営に影響のないよう更新すること。

ウ 高圧幹線設備

既存レストラン棟の受変電設備から市民文化会館の新設電気室への高圧幹線及び非常用発電機設備から新設の非常電源系統の受変電設備への高圧幹線を更新する。

(2) 非常用発電機設備

レストラン棟の既設発電機は撤去し、現行の非常用発電機容量計算式に基づいた適切な容量の発電機を設ける。

冷却方式は原則として空冷式とする。

非常用発電機設備の更新にともない、工事期間中に本庁舎などへ非常用電源を供給できるような効率的な工法を検討すること。仕様・容量は本庁舎などの機能に影響のないようなものとする。

(3) 直流電源設備

全面更新とし、市民文化会館の電気室に設置する。レストラン棟にある既存設備は撤去する。

(4) 幹線設備

市民文化会館内の幹線設備については、現状では不具合がないため、配管配線ともに原則として既設流用とする。但し、受変電設備更新・非常用電気室新設・熱源改修に伴う幹線の増設等については、適切に対応すること。

(5) 動力設備

空調設備、衛生設備、舞台機構設備等の機器更新に伴う変更に対応し、適切に更新する。配管配線についても原則として全面更新とする。また、工事実施時期が分割されることを考慮すること。

(6) 電灯設備

ア 一般照明設備について

LED 照明器具に全面更新とする。照度については、現状と同等もしくは JIS 基準によるものとする。天井改修のない場所の照明器具については、照明器具配置を変更しないで更新するものとする。二次側の配管配線も全面更新とする。

イ 非常照明設備

LED ランプの器具に全面更新とする。二次側の配管配線も全面更新とする。

ウ 誘導灯設備

最新型のものに全面更新とするが、近年に LED 型に更新しているものは既設流用も可とする。誘導灯信号装置の必要性を含めて検討する。非常放送・火災報知設備との連動を確認する。二次側の配管配線も全面更新とする。

エ 照明制御設備

LED 照明対応の照明制御設備(エリア毎の自動点滅など)を設置する。今回の各工事による機器更新等に伴い、更新・改造など必要な対応をすること。

オ 舞台作業照明設備

LED ランプの高天井型照明器具等に変更する。

カ 屋外電灯設備

屋外照明器具は、全て継続使用とする。

(7) コンセント設備

コンセント設備は継続使用とする

(8) 分電盤設備

分電盤は継続使用とする。今回の各工事による機器更新等に伴い、更新・改造など必要な対応をすること。

(9) 電話設備

電話設備については、継続使用とする。

ただし、電話交換機は図書館・子ども科学館と共用のため、図書館・子ども科学館の運営に支障のないような仮設電源等の引き込みを行うこと。

(10) ドアホン設備

既設ドアホンは継続使用とする。

(11) テレビ共聴設備

テレビ共聴設備は継続使用とする。

(12) ITV設備

ITV設備は継続使用とする。

(13) 電気時計設備

電気時計設備は、電波時計等と比較検討をして、更新とする。

(14) インターホン設備

インターホン設備は、継続使用とする。

(15) トイレ呼出表示設備

トイレ呼出表示設備は継続使用とする。

(16) 館内インターネット環境

館内全域にインターネット環境が整備されるような配管関係やルート等を検討し、新設する。

(17) 非常放送設備

全てのスピーカ及びアンプ、配線を全面更新する。関係法令に基づき、伊勢原市消防本部主管課の指導に従い整備すること。また、現行法規の設置基準に合うように、スピーカ配置や回路構成を見直すこと。配管・ケーブルラック等も更新すること。但し、更新できないコンクリート埋設配管については既設流用も可とする。

(18) 自動火災報知設備・防排煙設備

防災監視盤を含めて、機器・配線を全面更新する。現行法規の設置基準に適合しているかどうか確認し、不足等ある場合は適合するような対応をす

ること。最新のシステムとし、操作性を向上させ、動作履歴の管理などが容易に行えるようにすること。

(19) 特定天井に関する電気工事

ア 特定天井に設置されている照明器具・スピーカ・感知器などは全て撤去し更新する。但し大小ホールの舞台音響設備であるプロセニアムスピーカーは電気設備の対象外とする。

イ 上記施工及び既存配管等にあたっては、「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」などにより、適切な耐震支持などを行うこと。

(20) 撤去工事

更新対象設備は全て撤去するものとする。

5 空調設備に関する設計と条件

(1) 空調熱源設備

ア 既設冷温水発生器2台、並びに、水冷チラーと付随する設備を撤去し、280RT相当の空冷モジュールヒートポンプチラー2セットの新設を想定している。する。なお、鉄骨架台の設置に必要な土間コンの撤去、ハンドホールから想定される配管等の地中埋設物の盛替え等について確認をして必要な工事を見込むこと。

イ 新熱源機器より冷温水配管(150A×4)を新設し、レストラン棟地下1階機械室の既設冷温水ヘッダーに接続する。また、冷温水ヘッダーから文化会館のB1階機械室、4階機械室へ展開する冷温水主配管を更新する。

ウ 熱源システム変更に伴い不要になった機器、煙道、煙突、配管等は撤去する。

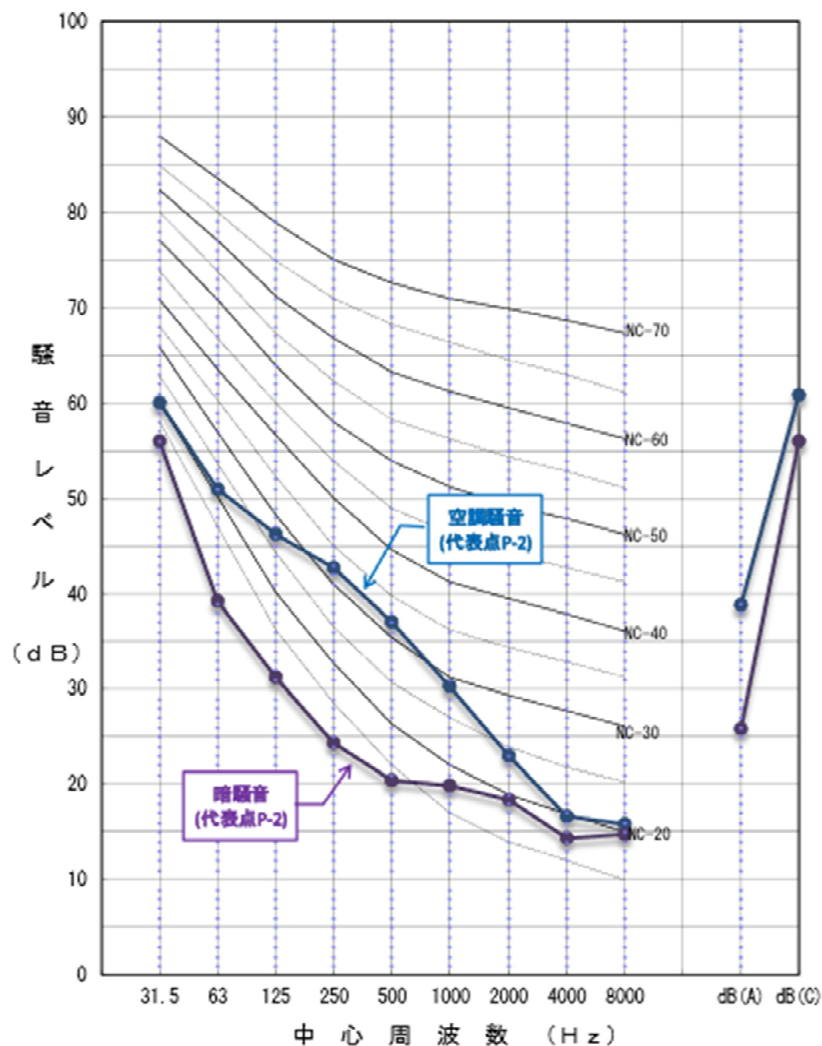
エ 文化会館と本庁舎の共用熱源であるので、本庁舎のオペレーションに極力影響をあたえないよう夏季、冬季を避けた中間期が冷温水供給停止期間となるような更新計画とすること。

オ ホール利用に支障とならないよう必要に応じて騒音対策を行うこと。

カ 将来的に本庁舎との熱源切り分けを検討すること。

(2) 空調設備

- ア 文化会館地下1階空調機械室に設置されている空気調和機、還風機、機械室内のダクト配管等を全て更新する。但し、空調機の加湿方式は気化式に変更する。
- イ 現状の大ホール騒音レベルは下図（A）のとおりである、客席前部分の騒音レベルNC25を目標に消音エルゴ設置等の対策を行う。
- ウ 文化会館地下1階電気室内の盤類の更新、レストラン棟地下1階非常用分電盤室の新設に伴い、冷専空冷パッケージエアコンを新設する



図（A）大ホールの騒音レベル

- エ 文化会館地下1階機械室以外の機械室に設置されている空気調和機、

還風機、機械室内のダクト配管等は更新せず継続使用とする。

オ 文化会館1階諸室等に設置されているファンコイルユニット、空冷パッケージエアコン等は比較検討し、適切なもので更新する。

カ 大・小ホール客席の床暖房設備、並びに、舞台背面のファンコンベクターと付属配管等は撤去更新せず、現状のままとする。

(3) 換気設備

ア 文化会館地下1階機械室内に設置されている送風機については、接続されている機械室内のダクト及び付属品もすべて更新する。

イ レストラン棟地下1階の非常用発電機の更新に伴い、既設の換気設備は撤去し必要な換気風量の機器を設置する。また、熱源機械室の換気送排風機、及び、換気ダクトを撤去する。

ウ その他の機械室に設置されている送風機、及び、天井内等に設置されている送風機は更新せず継続使用とする。

(4) 排煙設備

ア 送風機室内等に設置されている排煙機は更新せず継続使用とする。

イ 排煙ダクト、排煙口、及び、手動開放装置は更新せず継続使用とする。

(5) 自動制御設備

ア 更新する熱源設備、及び、空気調和機に付随する、自動制御機器、配管、配線、制御盤等のシステムを更新する。

イ 大ホール・小ホール・リハーサル室の温度・湿度の計測センサーを更新する。

ウ 自動制御設備の更新に伴い、中央監視システムの手直しを行う。

エ その他の空調機、各種機器周りの自動制御機器類は更新せず継続使用とする。

(6) 特定天井の更新に関する空調工事

ア 特定天井部分に設置されている制気口類は撤去せず、清掃し継続使用する。

- イ 特定天井上部に設置されている空調、換気、排煙ダクトに必要な耐震支持を追加する。

(7) その他

- ア 地下1階機械室、屋外の撤去する冷却塔周りを除く、文化会館建屋内部に設置されている冷却水配管、蒸気配管、蒸気還水配管、給水主配管40A以上は撤去せずに現状のままとする。
- イ 機械室以外の天井内等に設置されている給気、還気、換気、排煙ダクトは、撤去更新せず現状のまま継続使用する。
- ウ 更新対象設備については、全て撤去する。
- エ ダクト、配管、保温等の部材の使用については、下記の竣工図書の特記仕様書を参照する。

<参照する図書類>

- ・伊勢原市民文化会館新築工事 竣工図（図面番号：設 1～設 54）
- ・庁舎等冷暖房設備改修工事（オゾン対策工事）竣工図（図面番号：1～

58)

6 衛生設備に関する設計と条件

(1) 排水設備

- ア 既設の湧水排水ポンプ、汚水排水ポンプ、並びに、屋内の排水配管を更新する。
- イ 大ホール便所下部トレンチ内湧水ピットに排水ポンプ、排水配管を追加設置する
- ウ 排水桝以降の埋設排水管、排水桝は更新せず、継続使用とする。

(2) 給湯設備

- ア 給湯ポンプ、湯沸し器、給湯配管、ガス配管等の給湯設備は撤去せず継続使用とする。給湯用ガスボイラは撤去し、給湯器にて更新する。

(3) 給水設備

- ア 本庁舎屋上の高架水槽から伊勢原本庁舎と文化会館へ上水が供給されているが、文化会館側への分岐量水器以降の給水主配管（40A以上）を全て更新する。
- イ 本庁舎屋上、並びに、文化会館屋上に設置されている冷却塔の撤去に伴い、屋外給水配管を撤去する。

(4) 衛生器具設備

- ア 大ホール男女便所、及び、小ホール男女便所の各種便器、洗面器、水栓、掃除用流し等の衛生器具類を全て更新する。「トイレの便器数に係る基準と運用のあり方に関するガイドライン」について検討すること。
- イ 和便器は全て洋風腰掛便器に変更し、リモコン式洗浄便座を取り付ける。
- ウ 小便器は自動洗浄センサー付きとする。
- エ 身障者便所はみんなのトイレに変更するため、衛生器具類・配管等も準じて更新する。
- オ 衛生器具の更新に伴い、『伊勢原市民文化会館新築工事 機械設備竣工図の内、上記便所詳細図』に記載されている配管（地中埋設配管を除く）を更新する。
- カ 配管がコンクリート壁に埋設され盛替えが困難な場合は、背面化粧パネルを設置し衛生器具、及び、配管等を更新すること。
- キ 男女トイレにもおむつ交換台を設置すること。
- ク 大小ホールの楽屋、浴室、シャワー室、便所等の衛生器具は撤去せず、継続利用とする。
- ケ その他各所（湯沸かし等）の衛生器具は更新せず継続使用とする。
- コ ラウンジ厨房器具、並びに、配管類は撤去する。

(5) 消火設備

- ア レストラン棟地下1階機械室内に設置のスプリンクラーポンプユニットを更新する。

- イ スプリンクラー配管は継続使用し、アラーム弁、一斉開放弁を更新する。
- ウ 天井を解体する各部屋等のスプリンクラーヘッドを取り外し、天井復旧工事に合わせて再設置する。
- エ 現行法規の設置基準に適合するように、スプリンクラーヘッドを追加・再配置する。
- オ レストラン棟地下1階各所の更新工事に際し、支障のある部分についてハロゲン消火設備を盛替える。
- カ 屋内消火栓ポンプ、屋内消火栓、屋外送水口、屋内消火栓配管は継続使用する。

(6) 特定天井更新に関わる工事

- ア 特定天井設置されているスプリンクラーヘッドは撤去せず継続使用するが、現行法規の設置基準に適合するようにスプリンクラーヘッドを追加・再配置する。
- イ 特定天井上部に設置されているスプリンクラー配管に必要な耐震支持を追加する。

(7) その他

- ア 更新対象設備については、全て撤去する。
- イ 配管、保温等の部材の使用については、下記の竣工図書の特記仕様書を参照する。

<参考図書類>

- ・伊勢原市民文化会館新築工事 機械設備竣工図（図面番号：設1～設

54)

- ・庁舎等冷暖房設備改修工事（オゾン対策工事）竣工図（図面番号：1～

58)

7 舞台設備に関する要求水準

(1) 舞台機構設備

ア 大ホール

大ホールでは 2010 年に吊物装置のワイヤー交換修繕をしている。今回電動吊物のマシン、ワイヤー、滑車、リミットスイッチを交換するが、手動吊物は既設のままとする。吊られている幕類を一時的に取り外す際は、工事エリア等で適切に保管し、再取付を行うこと。

イ 小ホール

小ホールでは 2010 年に吊物装置のワイヤー交換修繕をしている。大きな不具合はないので、今回の設計範囲外とする。

(2) 舞台照明設備

ア 大ホール

(ア) 負荷設備の更新

照明器具、コンセントダクトは、原則として既設流用とする。

(イ) 調光設備の更新

耐用年数の過ぎた下記調光設備類の更新を行う。

主幹盤、分岐盤、調光器盤、調光操作卓、舞台袖操作盤、ワイヤレス装置

(ウ) 配線の追加

負荷設備配線、配管は原則として既設流用とする。直回路及び信号用弱電配線を追加で敷設する。

イ 小ホール

小ホールの舞台照明設備は今回の設計範囲外とする。

(3) 舞台音響設備

ア 大ホール

(ア) 調整機器の更新

耐用年数の過ぎた下記調整機器類の更新を行う。

音響調整卓、調整室モニタースピーカー、入出力パッチ架、システム制御架、移動型周辺機器ワゴン、下手舞台袖集中盤架、ワイヤレスマイク装置

(イ) 出力系機器の更新

耐用年数の過ぎた下記出力系機器の更新を行う。

出力制御架、パワーアンプ架

(ウ) スピーカの更新

耐用年数の過ぎた下記スピーカー類の更新を行う。

プロセニアムスピーカー、サイドスピーカー、ステージフロントスピーカー、固定はね返りスピーカー、移動型スピーカー、諸室天井スピーカー

(エ) マイク類の更新

耐用年数の過ぎた下記マイク類の更新を行う。

ワイヤレスマイクロホン装置、吊マイクロホン装置、ケーブル、スタンド

(オ) インターカム設備の更新

耐用年数の過ぎたインターカム設備の更新を行う。

(カ) 配線の更新

音響用信号配線を更新する。配管は原則として既設流用とするが、不足する場合は更新、増設等も可とする。

イ 小ホール

小ホール舞台音響設備は今回の設計範囲外とする。

ウ 共通音響備品

部位	既設仕様	数量	改修参考仕様
移動型音響調整卓	YAMAHA TF3 (V4.55) ×1 YAMAHA MG10XUF ×2	一式	中型デジタルミキサー、小型デジタルミキサー、小型アナログミキサー、各種ケース、ネットワークオーディオ用 LAN スイッチ YAMAHA DM7、DM3、MG16XU 程度
移動型録音再生機器	TASCAM 130 ×2 TASCAM 202MKVI×2 TASCAM CC-222SLMk II ×2 TASCAM CD-500B ×3 TASCAM CD-RW900MK II ×1 TASCAM MD-350 ×2 SONY MDS-E58 ×2 TASCAM SD-20M(V1.02) ×2 TASCAM SS-CDR250N (V2.12) ×2 YAMAHA Q2031 ×2	一式	録音再生マルチメディアレコーダー、CD プレイヤー、マルチメディアプレイヤー、各種ケース TASCAM SS-CDR250N TASCAM CD-200SB TASCAM CD400U 程度
インターカム子機類	ベルトバック Clear-Com RS-502×8 ヘッドセット -1 Clear-Com CC-	一式	ベルトバック、ヘッドセット、接続ケーブル Clear-Com Encore シリ

	100×6 ヘッドセット -2 Clear-Com CC-85×2		ーズ
移動スピーカー	EV SX300E ×2 EV SX200 ×6 BOSE 802 Series II ×2 BOSE 101MM+1702 ×1 組 YAMAHA MSP3 ×2	一式	既設のままとする
ステージスピーカー用アン プ	出力パッチパネル YST 特型×3 電源制御ユニット YST 特型×2	一式	既設のままとする
マイクロホン 類	SHURE SM57 ×9 SHURE BETA57A ×3 SHURE SM58 ×9 SHURE SM58S ×6 SONY C-38B ×4 SONY C-536P ×4 AKG C414B-ULS ×4 AKG C451EB ×2 SHURE MX418D/S ×2 audio-technica AT851a ×4 SENNHEISER MD421 ×2 SENNHEISER MD431 II ×1 SENNHEISER MD441 ×4 SENNHEISER BLACKFIRE 531 ×4 BEYERDYNAMIC M160N ×2	一式	既設同等で更新とする
マイクスタン ド類	K&M ST210 ×15 K&M ST259 ×4 MF-18TM (800～1,416mm) ×9 MF-34T (430～875 mm) ×4 卓上ベース ×4 XLR 付フレキアダプター ×9	一式	既設同等で更新とする
ケーブル類	マイクケーブル 2m ×1 マイクケーブル 3m ×1 マイクケーブル 5m ×12 マイクケーブル 10m ×11 マイクケーブル 15m ×10 マイクケーブル 20m ×10 スピーカーケーブル (4 ピン XLR) ・ 5 m ×3 ・ 10m ×9 ・ 15m ×4 スピーカーケーブル (NL4 から 4 ピン XLR 変換) ×6 スピーカーケーブル (4 ピン XLR から から 3 ピン XLR 変換) ×2 マルチケーブル 2ch5m ×3 マルチケーブル 2ch15m ×3 マルチケーブル 16ch10m ×1 マルチケーブル 8ch5m ×5 マルチケーブル 8ch10m ×5 マルチケーブル 16ch20m ×2 マルチケーブル 8ch20m ×1 マルチボックス 8ch 用 ×5 マルチボックス 16ch 用 ×2	一式	既設同等で更新とする

	バッチケーブル 0.45m×7 バッチケーブル 0.9m×46 バッチケーブル 1.8m×46 変換ケーブル各種一式		
アクセサリ 類	ダイレクトボックス BSS AR116 ×2 (006P only) COUNTRYMAN TYPE85 ×2 台 トランスボックス 特型 2ch 600Ω:600Ω×1 特型 2ch 600Ω:10kΩ×1 フェーダーボックス 1ch 型ストローク 100mm×2 カフボックス×1	一式	既設同等で更新とする

8 その他に関する設計と条件

(1) 備品の取扱い

現在本施設には様々な備品が存在する。工事範囲における備品や絵画等の移動、保管についての費用は工事費に見込むこと。備品や絵画等のリストは設計開始後に提示する。